

<テン侵入経路の確認（4月4日追加）>

■4月4日朝、金網とネットの間に卵の殻を確認 …①

■トラバサミが2基作動していたがテンは捕獲されず …②

前日トラバサミの傍に卵を設置しておいたがなくなっていた。

■隙間を塞ぐために設置されている溶接金網（2箇所）にテンの毛が付着 …③・④

③3月15日にヘアトラップにてテンの毛を採取した箇所（資料1-2のP14）において確認。  
この箇所は、3月15日以降テンが通過した形跡がなく、テンがヘアトラップを嫌う傾向があると推察されたため、3月29日にトラップを外していた。

④卵の殻があった箇所の上部の隙間にて確認。また隙間の内側に、卵の殻を確認した。この卵の殻は割られて日数が経っており、持ち去られた日は不明である。この場所は3月29日の朝、積雪に残った足跡を調査した際に侵入の可能性があると考えられた箇所（資料1-2のP13、図中記号③）である。

※③④の隙間は、いずれも隙間調査におけるタイプC（天井部と柱の境界）であった。

写真



① 金網とネットの間の卵の殻



④ 溶接金網のテンの毛と、古い卵の殻

平面図

